

NPO法人ひっ翔べ！奥さつま探険隊

団体の紹介・活動の目的

当法人は、総勢34名の薩摩郡さつま町鶴田ダム近く川内川大鶴ゆうゆう館を拠点に構え川内川流域で活動を行っています。

当法人は、一級河川川内川の中流域に位置するさつま町において、豊かな自然環境や文化、歴史、原風景、風土の再認識を行うとともに、地域住民や次世代を担う子供達に対して、貴重な自然環境との共存・共栄及び先人の知恵を生かした自然体験・環境学習に関する事業を行い、鶴田ダム湖（大鶴湖）を拠点とした水源地域（川内川）の自立的・持続的な活性化を目的としています。

活動の内容

法人設立から、河川活動（主に川遊びや遊覧船運行）・地域の振興（さつまのささ福かざり※さげびな）・川内川大鶴ゆうゆう館にてレストラン・展示室運営・さつま町や国土交通省など行政との連携を図っており、イベント開催時には、自然に触れる大切さや環境を考えていただく機会を設け反響を頂いているところです。

今後、さらに地域の資源・関係各所との連携を密に図り活動を進めていきます。

連携・協力している団体など

国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所、国土交通省九州地方整備局鶴田ダム管理所、川原地区公民館

①



「さつまのささ福かざり」

毎年、2月7日の初市にあわせて、さつま町商工会婦人部と共同で市街地の空き店舗を活用し、毎年1000人以上を超える来場客があります。

②



「流木作業・防災展（川内川鮎まつり内）」

鶴田ダム管理所と共同でダムに流れる流木の利活用の一貫で新作りや、毎年6月に開催される、川内川鮎まつり内で防災情報啓発のための防災展を行います。

③



「川原魚つかみどり大会」

さつま町川原地区と共同で、川原魚つかみどり大会を毎年7月頃に開催。自然の川に親しんで頂くと同時に、ゴミ拾いを行い、環境について考える機会を作っています。

④



「秋の大鶴湖 水辺探険隊」

毎年、曾木の滝周辺の紅葉が始まる11月頃に、鶴田ダム湖の大鶴湖を活用し、曾木発電所遺構周辺で遊覧船を行う。乗船頂き水環境について考えていただく機会を設けています。